

経験から学ぶ

昨年9月7日に九州地方に接近した台風10号は、特別警報級の勢力で接近・上陸のおそれがあるといわれました。実際には、予測以下の発達状況でしたが、台風10号は大型で非常に強い勢力で接近したため、九州で大規模な停電が発生するなど、多くの被害がでています。

台風の接近に備える

台風は恐ろしいほどのエネルギーを持っています。接近する前にできる限りの備えをお願いします。

台風が接近する3日前～1日前に行う備えを、下記のとおり段階別に紹介します。

【3日前】家の周り

- 屋外の植木鉢やベランダにある物干し竿は、強風で飛ばされる可能性があるため、風雨が強くなる前に家の中に入れておく。
- 側溝や排水溝に落ち葉やごみがたまっていると水があふれて浸水する可能性があるため掃除をする。

【2日前】家の中

- 飛来物で窓ガラスが割れることがあるため、雨戸やシャッターがあれば下して防ぐ。
- 窓の鍵を閉め、カーテンを閉めたり、窓ガラスに養生テープや飛散防止フィルムを貼ったりする（窓が割れたときに室内に破片が飛び散るリスクを抑えることができる）。

【1日前】

- スマートフォンやモバイルバッテリーの充電をする。
- 懐中電灯の電池が入っているか確認する。
- 断水に備え生活用水用に湯船に水を貯める。
- 飲料水の用意をする。
- 2～3日分の非常食を用意する。
- 停電などに備え、冷凍庫で保冷剤を凍らせておく（冷蔵庫の中の食料を冷やす）。



九電送配からの
お知らせ

台風時の停電に備えましょう!



台風時の停電情報をチェック!

台風による停電時には、電話がつながりにくくなることがあります。台風等非常災害時の停電情報は下記のホームページでもご確認いただけます。

■パソコン・スマートフォン版ホームページ

https://www.kyuden.co.jp/td_index

■携帯電話版ホームページ

http://kyuden.jp/tdmb_index

九電送配

検索

「九電送配」で検索してください。

メールサービス

台風による停電時には、ご登録いただいたメールアドレスに停電情報を配信いたします。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。



スマートフォン



携帯電話

ご登録は
こちらから!

停電への備え

- ・強風で飛ばされるおそれがあるものは、あらかじめしっかり固定しましょう。
- ・普段から分電盤の位置を確認しておきましょう。通常、分電盤は玄関・台所・脱衣所・廊下等の上部に設置されています。

停電時に必要なもの(例)

- 携帯ラジオ 懐中電灯 飲料水
- 乾電池 携帯電話の充電器(電池式)
- ため水(生活用水)

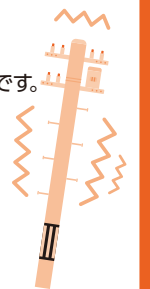
災害が起きたら

切れた電線は感電のおそれがあり大変危険です。絶対に触らず九電送配へご連絡ください。

傷ついたり、水につかった電気器具、コードは漏電や火災の原因となります。

必ず電気店などで点検ください。

(注)集中豪雨時等もご注意ください。



 九州電力送配電



インターネットと人権



インターネットの発展により、私たちの生活はとても便利になっています。最近では、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレット端末など通信機器が急速に普及したことにより、いつでもどこでも簡単にインターネットを利用できるようになっています。しかし便利になる一方で、掲示板やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

（ス）などを利用した、いじめや誹謗中傷、事実とは異なるその情報や無断で個人情報掲載するなどの人権侵害が後を絶ちません。

インターネットによる人権侵害が増える原因の一つに、自分の名前や顔を誰にも知られることなく情報を発信することができる「匿名性」があげられます。実際に匿名性を悪用して、事実とは異なるその情報がSNSに掲載され、それを信じた人から誹謗中傷されたという事例が発生しています。こうした事例を起こしている本人にとっては、面白半分のもりであっても、被害にあった人からすれば、精神的に追い詰められ、会社や学校に行けなくなり、最悪の場合には自殺へとつながることもあります。

人権を侵害するような書き込みに対しては、プロバイダ責任制限法（特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律）に基づき、被害者がプロバイダ（インターネット接続業者）などに対してインター

ネット上の書き込み削除や書き込みをした人の情報開示を求めることができます。掲示板やSNSなどで自分のプライバシーや人権を侵害する書き込みを見かけた際には、証拠として書き込みが掲載されているページのURLを控え、該当する画面を保存しておきましょう。

インターネット上の掲示板やSNSなどを利用する場合には、常にさまざまな人が読んでいるということを意識することが大切です。また、情報を悪用されないためにも、安易に自分の写真や個人情報を掲載しないことも重要です。簡単に情報を発信できてしまうために、インターネット上では、人権を軽視し、他人への思いやりの気持ちを忘れてしまう人が多くいます。名前や顔を知られないからといって何を言ってもいいわけではありません。顔が見えないインターネット上だからこそ、相手のことを想像し、思いやる気持ちを持ちましょう。

▽問い合わせ 社会教育係（☎223局3546）